

キャリア教育プログラム 一覧表

領域能力	観点	幼稚部	小学部		中学部	高等部
			低学年	高学年		
人間関係能力 ・ 社会形成能力	人とのかかわり	教員や友だちとかかわる中で、親しみや安心を感じる。	同じクラスや学年の友だちと仲良く遊び、助け合う。	他学年の友だちと交流する中で、下学年を意識して行動する。	職場体験や居住地校交流などを通して様々な人と交流する。	新たな関係を構築し、良好な関係を保つ。
	集団参加・協力・共同	気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。	クラスやグループ活動に参加し、協力する。	異年齢集団の活動に参加し、役割を果たす。	相手の立場に寄り添う。	相手の立場を考え、協力的に行動する。
	意思表示	自分の気持ちを表現する。	様々なコミュニケーション方法で相手に気持ちを伝える。	相手の言いたいことや気持ちを考えて、自分の考えを伝える。	相手に伝わるようにコミュニケーションの方法を選択できるようになる。	手話や筆談を正しく用いて、相手に伝わりやすいコミュニケーションを心がける。
	あいさつ	身近な人に簡単なあいさつをする。	友だちや教員にあいさつをする。	学校の訪問者や他学部の教員にあいさつをする。	場面に応じて適切なあいさつをする。	初対面の人に対しても、自ら進んであいさつをする。
	清潔・身だしなみ	自分で服を着替える。	手洗いや歯磨きなどの習慣を身につける。	自分自身だけでなく、身の回りも清潔にする。	身だしなみに注意を払い、身のまわりの環境を整える。	場に応じた身だしなみを自ら考えて、装うことができる。
	きまり	いろいろな決まりを知る。	時間や生活の決まりを守ろうとする。	自分たちで決まりを作り、守って行動する。	皆がより良く過ごすための方法を考え、実行する。	生活の質を向上させるため、きまりの意義を考え日常生活で実践する。
	場に応じた行動	家族以外の人と接する経	相手や場面に合わせた受	目上の人に適切な方法で	相手や場面に応じ、適切	場に応じた行動や言葉遣

		験をする。	け答えや挨拶があることを知る。	話したり、態度をとったりする。	な話し方・態度をとる。	いを主体的に考える。
自己理解 ・ 自己管理能力	自己理解・他者理解	自分の気持ちを伝えた り・友だちの思いを認め たりする。	自分の良いところを見つ けるとともに、友だちの 良いところも見つける。	自分と友だちの短所・長 所を知り、認めあう。	自分と他者の違いを知 り、受容し、自分も他者 も大切にする。	自分の長所と短所を把握 し、相手の考えや気持ち を受けとめようとする。
	金銭の扱い方	お買い物ごっこで遊ぶ。	お金の数え方を知る。	お金の使い方を考える。	計画的に買い物ができ る。	消費生活の安定と向上を 考え、生活設計を立て る。
	自己選択	自分の好きなこと、嫌い なことがわかる。	自分がしたいことを考 え、選択する。	自分がしたいことを考 え、善悪を推し量ること ができる。	「やりたいこと」と「や るべきこと」を区別し、 優先順位を決定し行動す る。	自分の興味関心を理解 し、進路決定に結び付け ていく。
	健康な体	手洗い、うがい、歯磨き を通して、自分の身体に 関心をもつ。	体を動かしたり、規則正 しい生活を送ったりする など、健康に過ごす意識 をもつ。	自分から健康を意識した 行動ができる。	自分の身体の変化につい て正しく知り、健康に過 ごす方法を考えて実行す る。	自分の体について理解 し、自己管理ができるよ うになる。
課題対応能力	目標設定	自分なりの目標をもって 取り組もうとする。	自分で達成できる目標を 設定し、取り組む。	よりよい生活や進路をイ メージして目標を決め る。	なりたい自分をイメージ し、目標を設定する。	進路決定のための年間予 定を策定する力を養う。
	決定・責任	好きな遊びを見つけて遊 ぶ。	自分の希望する係活動を 選択し、最後まで取り組 もうとする。	自分で決めたことに責任 をもち、最後まで取り組 もうとする。	周囲も意識しながら、最 後まで取りくみ、取り組 んだ内容を振り返る。	自分で決定したことに対 し、責任をもち、やり遂 げる。
	ふり返り・肯定的な自己評	思ったことや考えたこと	活動後に頑張ったことや	活動後のふり返りで、良	結果に対して、次に生か	活動後に自身で振り返

	価	を相手に伝える。	楽しかったことを発表する。	いところだけでなく、改善点にも注目し、次回の活動に生かそうとする。	すように工夫（計画）するとともに、達成できたことを肯定的に評価する。	り、改善を加えながら行動できる。
	自己調整	友だちと一緒に活動する楽しさを知る。	友だちと意見が合わない時の解決方法を知る。	友だちと意見が合わない時の解決方法を自分たちで考えることができる。	周囲の状況を観察し、自分ができていることを考えて行動する。	周囲の状況を理解し、自分の行動を振り返る。
キャリア プランニング 能力	習慣形成	自分でできることは自分です。	自分でできることを増やす。	身の回りのことを自分で行う。	自分ですべきことを、他者の働きかけがある前に行う。	目標設定を行い、自分で取り組む習慣をつける。
	役割・はたらくよろこび	当番活動などを進んでしようとする。	係活動を行い、自分の役割を果たす。	自主的・自発的に係活動、委員会活動を進め、仕事を分担する。	自分の役割を意識し、集団活動を行うことができる。	職場実習を通して、はたらくよろこびと意味を知る。
	やりがい	当番の仕事や行事の司会を通して、人の役に立つ喜びを知る。	自分の役割を果たし、周りから認められることに喜びを感じる。	計画・実行・振り返りをして自分の役割に責任を持ち、周りから認められることに喜びを感じる。	決められた役割だけでなく、自分で決めたテスト計画などの計画・実行・振り返りを行い、達成感を得る。	自分で決めたことに対し、計画・実行・振り返りを行い、最後まで取り組めるようになる。
	夢や希望・進路計画	電車ごっこやお店屋さんごっこなどのごっこ遊びを通して、身近に働く人に興味・関心をもつ。	町探検や社会見学をとおして、地域で働く人に興味・関心をもつ。	教科学習や調べ学習をとおして、職業や仕事への関心・意欲をもち、将来の夢を思い描く。	職場体験などを通じて「働く」ことを経験し、様々なローカルモデルに出会うことで進路について考える。	進路実現に向け、見通しをもって計画し、具体的に行動していく。

障がい認識	情報活用（情報・聴覚）	補聴器・人工内耳の安定装用を目指す。	補聴器・人工内耳を活用できる場面や、活用しにくい場面があることを知る。	自分のきこえ方の特徴（得意・不得意な音）を知り、自分のきこえ方に合った代替手段（UDトークなど）があることを知る。	自分の障がいを他者に正しく伝える。	自分の障がいを他者に正しく伝え、情報保障を共に構築していく。
	情報活用（日本語） 自立活動	手話・指文字・音声言語などを使って、コミュニケーションの力を身につける。	簡単な文章や日記を書き、気持ちを表現する。	場面に応じた言葉を学び、文章力を高める。	正しい日本語や敬語表現を身につけ、コミュニケーション力を高める。	言葉がもつ曖昧性や、意味の深さを知る。
	社会資源の活用	見てわかる標識やマークに関心を持つ。	教員や保護者と一緒に公共施設や交通機関を利用する。	身近な公共施設や交通機関を利用するとともに、どういった理由で作られたのかを考える。	様々な福祉制度があることを知る。	社会に出てから自分にとって必要な福祉制度について具体的に学んでいく。